



型番:SSTP-MST6
Article-No.:110-62000
適用タイ:MST-Sシリーズ

型番:SSTP-MST9
Article-No.:110-92000
適用タイ:MST-Mシリーズ

取扱説明書 メタルタイ・パンチロックタイプ エアー式結束工具

SSTP-MST6、SSTP-MST9 はヘラマンタイトン製メタルタイ・パンチロックタイプの専用工具です。ご使用の際には、取扱説明書をお読みにになり正しくご使用ください。

■テクニカルデータ

エアー圧力 (圧縮空気供給源側)	0.5 ~ 0.7MPa
エアー供給ホース取り付け口	φ6mm (直接エアー供給ホースを取り付ける場合)
締め付け力	設定可能 (0.25 ~ 0.60MPa)

SSTP-MST6/SSTP-MST9
LpA= 70.47dB(A), K= 3dB(A). LwA= 81.47dB(A), K= 3dB(A). ah= 0.875m/s2, K= 1.5m/s2

周辺温度:0 ~ 50℃ / 周辺湿度:20 ~ 90% (但し結露なきこと)

■各部の名称

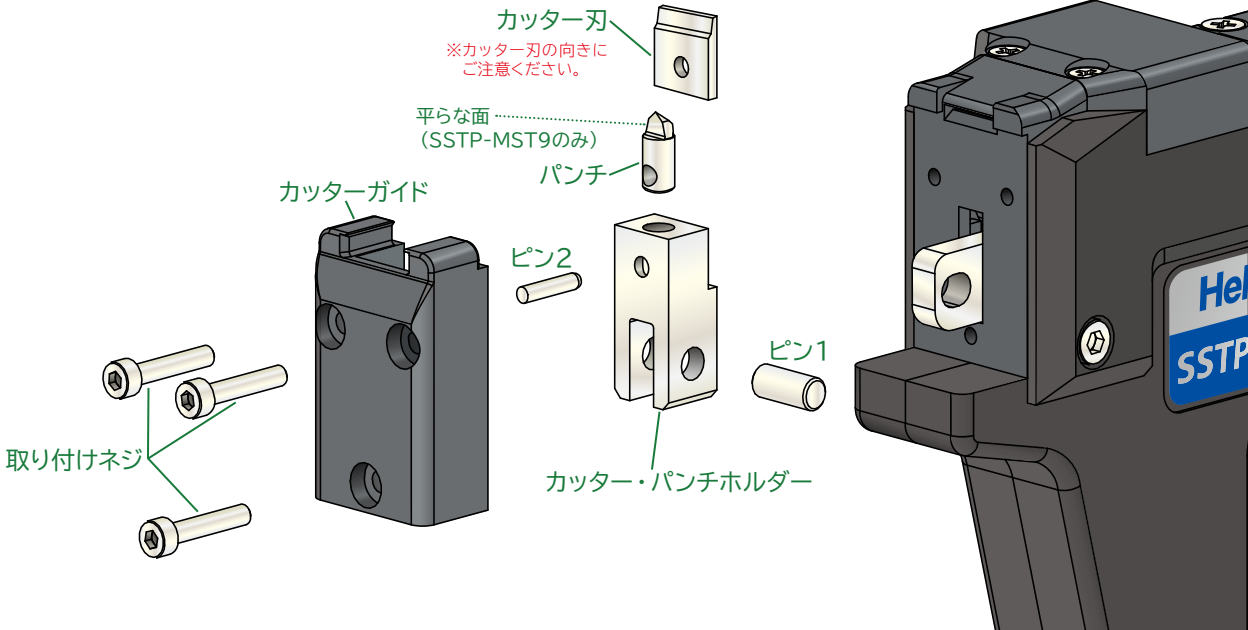


※エアーホースは付属していません

⚠ 使用上の注意 (安全にご使用いただくために)

- ・安全装置や保護カバーを除去したり解除しないでください。
- ・工具の修理やメンテナンスをする場合は、事前に必ずエアー供給ホースを外してください。
- ・空気供給源は圧縮空気 (エアーコンプレッサー) を使用してください (最大0.7MPa)。
- ・工具使用時は保護眼鏡を着用してください。
- ・この取扱説明書は、問題が起こった時にすぐ見られるよう作業場所に必ず保管してください。
- ・納入後はすぐに開封して工具を箱から取り出し、外観に損傷がないかを確認してください。輸送中に起こった損傷は、書面にて直ちに運送会社へ報告してください。直ちに報告を行わなかった場合、弊社の保証対象とならない場合があります。
- ・必ず、ヘラマンタイトン製メタルタイ・パンチロックタイプをご使用ください。他社製の結束バンドでは、使用できません。
- ・この取扱説明書に従わない誤った使用法は、不良、故障、事故に繋がる恐れがあります。
- ・使用者による不正な工具改造や誤った使用方法によって引き起こされる事故について、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

■カッター刃・パンチ交換



●取り外し方

1. カッターガイド前方にある取り付けネジを2mmサイズの六角棒レンチ (スパナ) ではなくします。
2. カッターガイドをはずします。
3. ピン1を押し出して、本体からカッター・パンチホルダーをはずします。
4. ピン2を押し出して、カッター・パンチホルダーからパンチとカッター刃をはずします。

⚠ 使用上の注意 (安全にご使用いただくために)

- ・必ずエアー供給ホースを外してから行ってください。
- ・カッター刃で手を切らないようにご注意ください。

●取り付け方

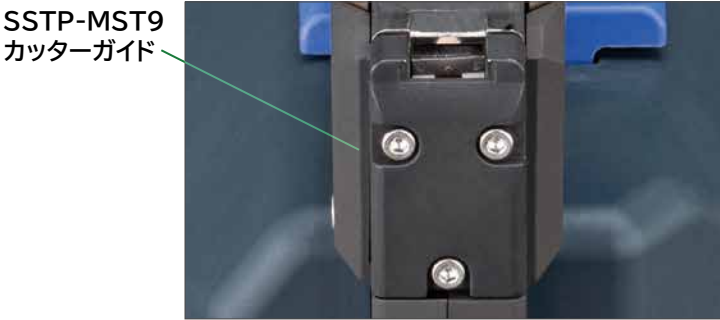
1. カッター・パンチホルダーにパンチ (SSTP-MST9 のパンチは **平らな面**がカッターガイド側に向くよう) とカッター刃を取り付けピン2で固定します。カッター刃の向きにご確認ください。
2. パンチとカッター刃を取り付けたカッター・パンチホルダーを本体に取り付けピン1で固定し、カッターガイドをかぶせます。
3. 六角棒レンチで取り付けネジを、カッターガイドの取り付け穴に締めこみます。

■ SSTP-MST シリーズ消耗品

対象工具型番	Article-No.	型番	内容
SSTP-MST6	110-61201	MST6G-P03	カッター刃S
	110-61202	MST6G-P04	パンチS
	110-62001	SSTP-MST6-P34	カッターガイドS



対象工具型番	Article-No.	型番	内容
SSTP-MST9	110-13201	MST9G-P03	カッター刃M
	110-13202	MST9G-P04	パンチM
	110-92001	SSTP-MST9-P34	カッターガイドM



ヘラマンタイトン株式会社

■東京オフィス
〒151-0073 東京都渋谷区笹塚1-48-3 住友不動産笹塚太陽ビル6F
TEL : 03-5790-3113 FAX : 03-6675-3255

■仙台オフィス
〒980-0811 仙台市青葉区一番町1-9-1 仙台トラストタワー 18F
TEL : 022-722-1057 FAX : 022-722-1058

ISO9001・ISO14001 認証取得

■大阪オフィス
〒532-0003 大阪府淀川区宮原 3-3-31 上村ニッセイビル 12F
TEL : 06-6395-8610 FAX : 06-6485-4897

■福岡オフィス
〒812-0013 福岡市博多区博多駅東 2-6-1 九勤筑業通ビル 3F
TEL : 092-481-8780 FAX : 092-481-8778

■名古屋オフィス
〒460-0008 名古屋市中区栄 2-3-1 名古屋広小路ビルディング4F
TEL : 052-229-1052 FAX : 052-687-1453

ヘラマンタイトンウェブサイト
www.hellermannntyton.co.jp

■使用準備

- 1. 利き手に合わせてグリップを取り付けてください。グリップは左右付け替え可能です。
- 2. 工具にφ6mmのエアー供給ホースを取り付けます。接続部分が外れないようにしてください。
- 3. 圧縮空気供給源（エアーコンプレッサー）に繋いでください。
- 4. 圧縮空気供給源のエアー圧力を0.5～0.7MPaに合せてください。
- 5. 下記締め付け指示値を参考に締め付け力を設定してください。
- 6. スタートボタンを押して、チャックバーが前後に繰り返し作動するのを確認してください。

■締め付け指示値

テンションノブを回し、テンションゲージを確認しながら締め付け力を設定してください。



テンションゲージ テンションノブ

TENSION SETTINGS	
STD	HVY
0.25-0.40MPa	0.40-0.60MPa

ラベル表記*		MPa	締め付け力 (参考値) 単位: N	適合タイ	
STD 0.25-0.40MPa	HVY 0.40-0.60MPa	0.25	400～600	MST Sシリーズ	MST Mシリーズ
		0.40	700～900		
		0.60	1000～1300		

* : STD=STANDARD、HVY=HEAVY

■トラブルシューティング

問題	原因	対処方法
作動しない	圧縮空気供給源に接続されていない	エアー供給ホースから圧縮空気が供給されているか確認してください
	空気圧不足	必要な圧力の圧縮空気が供給されているか確認してください
メタルタイが切断されない	カッター刃が取り付けられていない	必ずエアー供給ホースを外してから、カッター刃を取り付けてください
	空気圧不足	必要な圧力の圧縮空気が供給されているか確認してください
チャックバーが戻らない	口金とチャックバーの周辺にタイの切りカスやチリ、埃が詰まっている	チャックカバーを取り外し、口金とチャックバー周辺に詰まっている、タイの切りカスやチリ、埃を取り除いてください
切断しづらい	刃こぼれしている	必ずエアー供給ホースを外してから、カッター刃を交換してください
	カッター刃が反対方向に取り付けられている	必ずエアー供給ホースを外してから、カッター刃を交換してください
	空気圧不足	必要な圧力の圧縮空気が供給されているか確認してください

■タイの挿入方向を誤った場合の対処方法



タイの挿入方向を間違えると、適切な結束ができません。
タイのヘッド部が、メタルタイ挿入部にセットできる方向が正しい挿入方向です。
右側の写真は、タイの挿入方向が間違っている例です。
挿入方向を間違った場合はエアーが接続されている状態で、メタルタイを工具から引き抜いてください。

■使用方法 A



メタルタイを被結束物に巻き付け、タイの先端が**下方向**から出てくるように、手で仮り締めしてください。

※メタルタイは、**刻印(TCA J)**のついている方が、**外側(表)**に来るように巻き付けてください。



テンションノブを調整し、締め付け力を設定してください。

メタルタイの先端から工具の挿入口へ差し込みます。



メタルタイ**ヘッド部** が、赤い点線の位置まで工具の挿入口にセットされていることを確認してください。

⚠ **メタルタイを十分に差し込まずに、スタートボタンを押すと適切な結束ができません。**

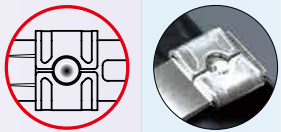


スタートボタンを押すと、チャックバーが前後に繰り返し作動します。
設定した締め付け力に達するまでスタートボタンを押し続けてください。

⚠ **締め付け時にメタルタイヘッド部が工具の挿入口から外れたり、ずれたりしないようご注意ください。**



カチツという音がし、パンチ(目打ち)され、タイが切断されます。



メタルタイヘッド部の中央にくぼみができていて、正しくパンチされていることを確認してください。



スタートボタンを離し、工具を手前にスライドさせるように、タイヘッド部から工具を引き抜けば結束完了です。



メタルタイの切れ端は、赤い矢印の方向に引いて工具から抜いてください。

■使用方法 B



メタルタイを被結束物に巻き付け、タイの先端が**上方向**から出てくるように、手で仮り締めしてください。

